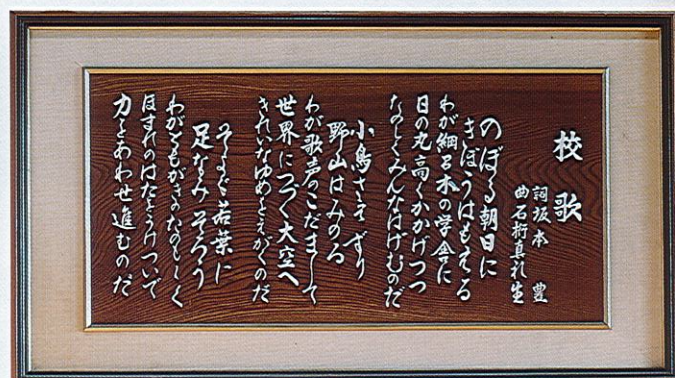


〜 創立150周年記念誌 〜

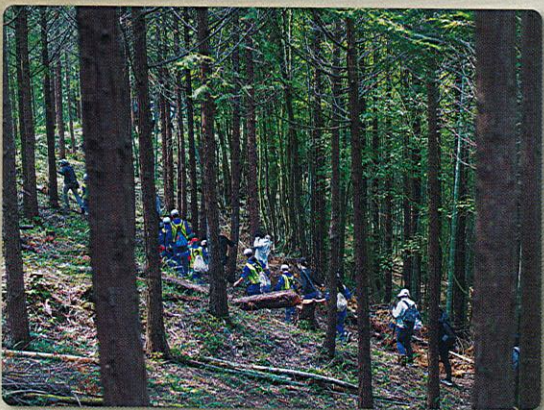
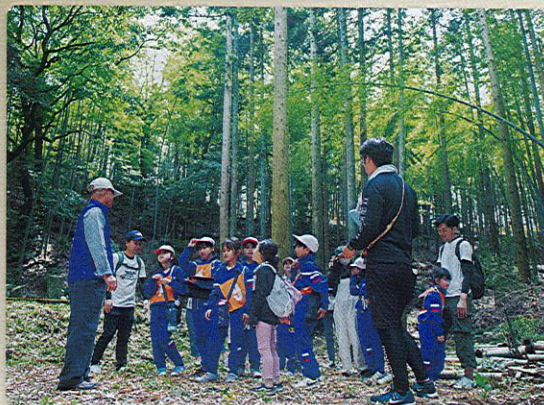
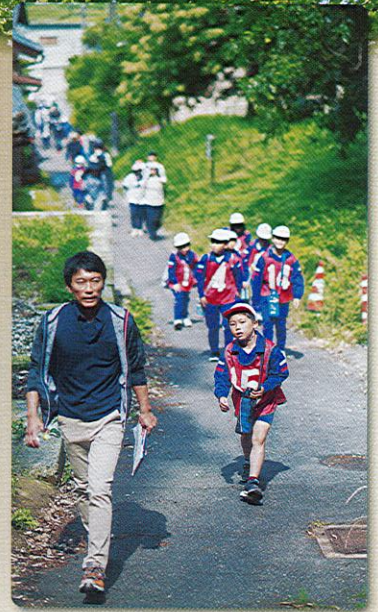
伝えよう未来へ
つなごう私たちの細呂木



あわらし細呂木小学校

～親子のつどい 神宮寺城跡散策～

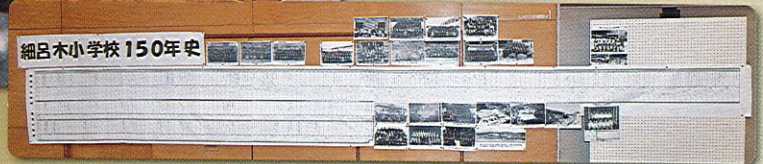
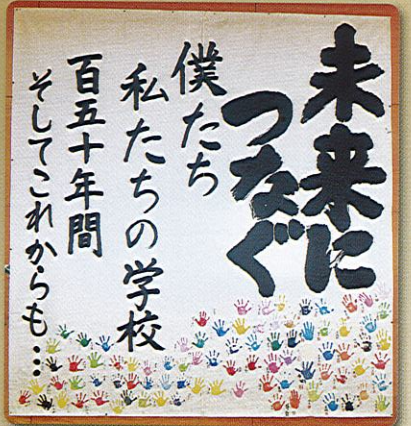
2023.6.10



2023.11.11



細呂木小学校
祝 創立150周年記念式典
 伝えよう未来へ つなごう私たちの細呂木



祝 辞

創立150周年を祝して

あわら市教育長 甲斐 和 浩



細呂木小学校が創立150周年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

美しい自然と多くの文化財が残る歴史豊かな環境に囲まれた細呂木小学校は、教育の拠点として多くの子どもたちを導き育んできました。

創立から150年の年月が経ち、この間、学校での教育内容は時代に合わせ大きく変化してきました。近年では、基礎学力の充実を中心とした教育から、ゆとりある充実した学校生活の実現を目指した教育へと変わり、現在は、学校で学んだことが「生きる力」となって人生に繋がってほしいという願いを込めた教育へと変化しています。

また、グローバル化や急速な情報化、技術革新など、社会の変化を見据えて、外国語教育や、ICT機器を用いた学習が行われています。

このような中、子どもたち一人一人がその個性を発揮し、互いを尊重しながら、この細呂木小学校で伸び伸びと学べるよう、今後とも地域・家庭・学校が一体となって、子どもたちの成長を見守り続けていただけると幸いです。

結びに、150周年を契機に細呂木小学校がさらに大きく飛躍することを祈念するとともに、本誌の編纂にご尽力を頂いた関係各位に敬意と感謝を申し上げ、お祝いのことばといたします。

祝 辞

創立150周年を迎えて

あわら市長 森 之 嗣



細呂木小学校が創立150周年を迎えるにあたり、心からお喜びを申し上げます。

中世の北陸道が通っていた細呂木の地は、越前国の入口と出口に位置する交通の要として関所や宿場が置かれ、この歴史あふれる地に、細呂木小学校は明治6年に神宮寺を借入れて開設した「沢小学校」と、柿原専教寺に開設した「柿原小学校」が起源となります。

創立から150年という長い歲月の中で、細呂木小学校は、まさにあわら市を代表する小学校として、子どもたちを育み、あわら市にとどまらず、福井県、そして全国へ多くの人材を輩出してまいりました。

また、子どもたちの郷土愛の育成が重要であると考え、ふるさと教育に力を入れてこられました。この地を愛する心は子どもたちの誇りと自信となり、子どもたちに力強く生きていく力、そして、次代のあわら市を担う力を与えてくれることと確信しております。

市としましては、3月の北陸新幹線芦原温泉駅開業を契機に、子どもたちが住み続けたいと思えるように、さらに魅力あるまちづくりに努めるとともに、市内小中学校の教育環境の整備や子育て施策の充実を図ってまいりたいと考えております。

細呂木小学校が今後さらに発展することを祈念し、また、記念事業にご参画の皆様にご敬意と謝意を表しまして、ご挨拶といたします。

ご挨拶

創立150周年への思い



細呂木小学校長
佐藤 康裕

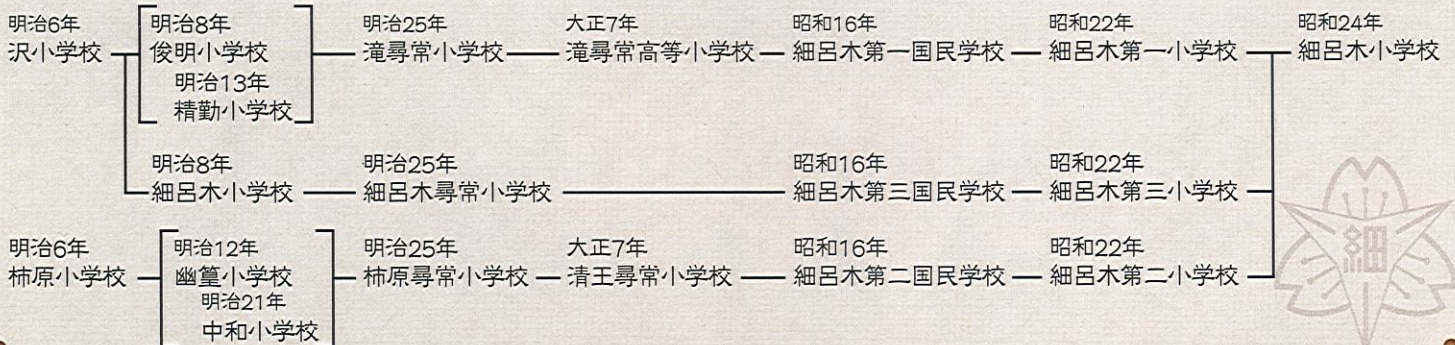
これまでの150年間、細呂木小学校は、地域のシンボルとして、多くの方々に愛され、支えられてきました。高台にある校舎から地域を見下ろすと、自然と力がわいてきます。

多くの愛情を受け、健やかに成長し続ける、素直で人懐っこい子どもたち。いつの時代もそうだったのでしょうか。

細呂木小学校での毎日が、生きていく土台になることは間違いありません。上級生に憧れ、「あんなふうになりたい」と子どもたちは言います。校訓である「心豊かな強くたくましい子」をめざし、世の中で活躍する人に成長していくのです。

「伝えよう未来へ つなごう私たちの細呂木」。このスローガンのように、これからも縦（継承）と横（結束）のつながりを大切に、細呂木小学校は未来に羽ばたく人を育て続けます。

細呂木小学校の沿革



沿革の概要

明治 6年 4月 柿原専教寺を仮校舎として柿原小学校創立
7月 沢村神宮寺を仮校舎として小学校を創立する
8年 沢小学校から一部地域が分離し、細呂木小学校を創立
沢小学校を廃止し、俊明小学校と改称
12年 3月 柿原小学校から幽篁小学校と改称
13年 俊明小学校より一部地域が分離し、精勤小学校を創設
25年 4月 俊明、精勤両校を合併し、細呂木村立滝尋常小学校と改称
幽篁校は細呂木村立柿原尋常小学校と改称
細呂木校は細呂木村立細呂木尋常小学校と改称
大正 7年 3月 柿原尋常小学校から細呂木村立清王尋常小学校と改称
昭和 16年 4月 国民学校令が施行され、滝校は細呂木村立第一国民学校、
清王校は細呂木村立第二国民学校、細呂本校は細呂木村立第三国民学校と改称
22年 4月 学制改革によりそれぞれ細呂木第一小学校、第二小学校、第三小学校と校名変更
23年 6月 福井地震が起り、校舎倒壊等の被害

昭和 24年 6月 細呂木村内三小学校の統合により、細呂木村立細呂木小学校と改称
29年10月 町村合併により、金津町細呂木小学校と改称
35年 3月 校章制定(3月) 校歌制定(5月) 落成式挙行(6月)
41年 7月 水泳プール竣工並びにプール開き
48年11月 創立100年記念行事を実施
54年 9月 米飯完全給食を開始
平成 8年10月 新校舎起工式
10年 9月 新校舎滝地籍に完成 落成式挙行
11年 6月 水泳プール竣工
16年 3月 町村合併によりあわら市細呂木小学校と改称
26年 1月 給食室を廃止し、給食センターに移行
28年 4月 吉崎小学校の休校に伴う校区変更で細呂木小学校へ
令和 5年11月 創立150年記念事業が行われる